

情熱 Jyōnetsu

所報タイトル「情熱」は所内で掲げる

平成 25 年度の目標です。

No.98

発行責任者 / 小林 政 氏

発行日 / 2013 年 8 月 1 日



ANAB
ISO9001 2000 認証取得
B05010002RCS

経営コンサルティング
税務
会計

KOBAYASHI GORDON

小林合同会計

所長税理士 小林 政 氏
税理士 山野 基 尚 税理士 須賀 保 雄

〒332-0032 埼玉県川口市中青木1丁目1番25号
TEL(048)253-5668 FAX(048)253-7602
<http://www.e-cg.co.jp>

清掃委員活動報告

清掃委員はより良い職場環境作りの一環として、毎月大掃除の際に重点的に清掃する箇所を決めています。また、清掃用具の管理やゴミの分別・削減にも取り組んでおります。

委員会発足から、ゴミ置き場や更衣室、蛍光灯、ドアや壁の拭き掃除、普段掃除しないパーティションの裏や本棚の上、トイレ掃除(便器をヤスリで磨く)等、様々な箇所を所員に協力を仰ぎながら掃除してきました。また、先日所員にアンケートを実施し、所員から重点的に清掃した方が良い箇所を募集しました。今後は所員のアンケートを参考にしながら清掃箇所を決定していく予定です。

清掃用具の管理としては、外掃除用の清掃用具が入っている物置を買い替えました。

他の委員会と違い大きな活動ではなく、毎週・毎月地道に活動している委員会ですが、地道なことであっても、継続していくことに意味があると思うので今後もこれらの活動を継続していこうと考えております。

～豆知識～

9月24日は清掃の日

環境省が実施。1971年のこの日、廃棄物の処理及び清掃に関する法律が施行されたことに由来。この日から10月1日までの1週間が環境衛生週間となっている。

～新しい掃除用具入れ～



所員の推薦書籍

残暑厳しく、外出するのをためらう日が続く今日、暑さを避け、室内で読書にいそしむというのはいかがでしょうか。今回は所員が皆様に是非一読して頂きたい書籍をご紹介します。ビジネス書に限らず小説、児童書、趣味などの様々なジャンルから紹介をさせて頂いております。

この夏の一冊を選んで頂ければ幸いです。



上杉鷹山

童門冬二

出版社：集英社文庫

九州の小藩からわずか十七歳で名門・上杉家の養子に入り、出羽・米沢の藩主となった治憲（後の鷹山）は、破滅の危機にあった藩政を建て直すべく、直ちに改革に乗り出す。高邁な理想に燃え、すぐれた実践能力と人を思いやる心で、家臣や領民の信頼を集めていった経世家・上杉鷹山の感動の生涯を描いた長編小説です。

企業経営について、所謂トップダウンではなく部下（社員）の意見を聞き、実績と計画をたえず見直しながら判断を加えています。

平成 13 年太田会計を引き継いだ当時に大変参考となった一冊であり、現在、事務所での毎週月曜日の役職者による早朝会議が生まれ、そして平成 16 年 7 月小林合同会計 3 周年記念特別講演会・童門冬二先生による「歴史に見る激動期の経営者」へ継ながら今年で第 10 回の講演会の実施に至りました。

人は皆組織の中で働き、仲間と共に生活しています。気付きや思いやりの心が学べます。是非一度読んで頂きたい一冊です。

小林 政氏

不撓不屈

高杉良

出版社：新潮文庫

山野 基尚

奇跡のリンゴ「絶対不可能」を覆した農家 木村秋則の記録

石川拓治

出版社：幻冬舎文庫

宮川 守

アインシュタイン150の言葉

編者ジェリー・メイヤー／ジョン・Pホームズ

訳者ディスカヴァー21編集部（協力 平野圭子）

出版社：(株)ディスカヴァー・トゥエンティワン

伊藤 清子

中小企業再生への経営改善計画

中村 中

出版社：株式会社 ぎょうせい

田口 英雄

氷 菓

米澤穂信

出版社：角川書店

2010年版『このミステリーがすごい!』で作家別ランキング1位にランクインした米澤穂信の推理小説シリーズ、『古典部シリーズ』の第1作です。

～主人公の“折木奉太郎”は神山高校の1年生である。奉太郎は省エネ主義を信条としており、無気力な性格で、自身の高校生活を「灰色」と例える。そんな奉太郎のもとに、ある日、世界中を旅する姉の供恵から一通の手紙が送られてくる。その内容は、活動内容不明、部員数ゼロ、廃部寸前の古典部に入部することを勧めるものであった。古典部に入部することにした奉太郎はそこで同級生の“千反田える”と出会う。彼女も一身上の都合で古典部に入部したのであるが、強烈な好奇心の持ち主であり、奉太郎は毎度その好奇心に振り回され、学園生活で事件が起こる度に謎解きをさせられる羽目に……。～

この小説は、派手なトリックはなく、推理を楽しむというよりもむしろ日常での謎を通して、「どんなことでも理屈は付くもんだ」という、主人公のロジカルな思考を楽しむものです。

また、登場人物の性格や心理の描写、謎解き等が丁寧にされており、とても読みやすい作品かと思えますので、推理小説を読んだことがない方にもお薦めです。

大槻 達郎



本当のモテ期は 40 歳から

青木一郎

出版社：メディアファクトリー

「外見」「コミュニケーション」「出会い」について、中年男性にお薦めです。

増田 彰

五体不満足

乙武洋匡

出版社：講談社文庫

ベストセラーになってから、久しく読み返してみても、彼自身のたくましさ、周囲の理解、心のバリアフリーなど、何かと身につまされるお話です。

四方 駒貴

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック 訳：じんぐう てるお

出版社：富山房

何とも言えない魅力的な絵本です。話は、児童向けなので短いですが独特の世界観を感じられます。

澤田 和子

ユニヒピリ ホ・オポノポノで
出会った「ほんとうの自分」
イハレアカラ・ヒューレン
出版社：サンマーク出版

斎藤 三津子



色彩を持たない多崎つくる
と、彼の巡礼の年

村上春樹

出版社：文藝春秋

春山 和彦

おばあちゃんの知恵袋

出版社：宝島社

野村 洋子

体温を上げると健康になる

齋藤真嗣

出版社：サンマーク出版

須賀 保雄

としょかんライオン

ミシェル・ヌードセン

出版社：岩崎書店

図書館という所は決まりを守りさえすれば誰でも入れるところ
です。例えそれがライオンでも？

いつも静かな図書館に大きなライオンが現れてみんな大慌て。
そこの図書館長さんは、決まりをとっても守る堅い厳しい人ですが、
決まりを守りお行儀の良いライオンはすぐにみんなと仲良しになり、
毎日図書館に。

ところがある日、ライオンは、ある出来事があり決まりを守れず
図書館から姿を消しました。もちろん決まりを守らなくては
いけないけれど…。時には特別な事情で守れない事だ
ってあるんだよ、と静かに語りかけてくれます。

図書館員さんがライオンを探し、ちゃんとした理由がある時には
決まりを守れないことだってあるという事を伝えると、ライオンは
次の日から毎日図書館に！

このお話は図書館という場所を通して、出会いや心の交流の素晴らし
さを味わう事が出来ます。深い感動を呼び、世界中で愛されている
話題の絵本です。

永吉 咲子

アクロイド殺人事件

アガサ・クリスティ

出版社：新潮社・講談社・早川書房他多数

中学生の頃に友人とアガサ・クリスティの推理小説にはまり、
これは探偵エルキュール・ポアロシリーズの大傑作です。

最後の最後まで犯人がわからない、そして衝撃の結末。
当時の友人と共に悲鳴をあげたことを思い出します。

読んでいない方にネタバレしないようにこれ以上は、コメントを
差し控えますが、ミステリー好きの方、そうでない方も是非読んで
みて下さい

鈴木 美雪



関ヶ原

司馬遼太郎

出版社：新潮社

深井 香那

ボックス!(上、下)

百田尚樹

出版社：講談社文庫

柳原 徹

時 生

東野圭吾

出版社：講談社文庫

茂垣 愛

峠

司馬遼太郎

出版社：新潮文庫

荻島 邦彦

ソロモンの偽証

宮部 みゆき

出版社：新潮社

菊地 祥代



はじめてのハーブ手帖

(株)エディング

出版社：(株)メディアパル

健康の為に体の免疫力を上げるなんて話が、普通に話題になる昨今です。でも専門書は難しいし、何冊も読みたくない。そんな方にお薦めのハーブ読本です。手に取りやすい厚みなのにフルカラーで写真がとっても多いです。和名の表記もしてあって、見ているだけでも楽しいのでぜひ読んでみて下さい。思わず「へえ～」と言ってしまうこと請け合いです。

金児 郁代

おまえうまそうだな

宮西達也

出版社：ポプラ社

恐竜時代設定の絵本です。子供に読み聞かせする本にも関わらず、ちょっと絵が怖いです。

内容はある場所で生まれたアンキロサウルスの赤ちゃんが初めてであった大人の恐竜が獰猛な肉食のティラノサウルスで、弱肉強食の世界ですから、すぐに食べられてしまうのが本来でしょうが、ティラノサウルスが「おまえうまそうだな」と発した言葉からアンキロサウルスの赤ちゃんが勘違いをして自分を「うまそう」という名前だと思い込み（生物学的には刷り込みというと思いますが）、ティラノサウルスを自分の親として慕ってくるその出会いから別れまでをかいた絵本です。

ティラノサウルスも当初戸惑っていましたが、日に日に愛情が芽生え、赤ちゃんを食べようとする他の肉食恐竜から守ったり、恐竜として強く生きるための訓練をしてあげたりと読んでいるこちら側もほのぼのする光景が描かれています。最後にはティラノサウルスもこのままではいけないと思い、競走をしてアンキロサウルスの赤ちゃんが勝ったら、一生一緒にいてやるという言葉をかけて競走するのですが、その先にいるのは本当のアンキロサウルスの親で、ティラノサウルスはその走る姿を見て反対方向へ去っていく、少しほろっとする絵本です。

吉田 英和

十二国記

小野不由美

出版社：新潮社

岡部 由里

容疑者 X の献身

東野圭吾

出版社：文藝春秋

(文春文庫)

杉田 佑介

いつでも会える

菊田まりこ

出版社：学研

数ページで終わる絵本です。が、すごく泣けます。

小泉 舞

心を整える

長谷部 誠

出版社：幻冬舎

岡村 直実

恋文の技術

森見登美彦

出版社：2009年ポプラ社（2011年ポプラ文庫）

最近読んだ本から一冊。

一読して、学生の頃に漱石全集を読んでは「ふむ、わたしも高等遊民というものになってみたいものだ」とわけのわからないことを喚いていたのを思い出しました。

この小説はタイトルからわかるように手紙を舞台装置としています。いわゆる書簡体小説です。ただ、純粹無垢な恋愛物というわけではないのでご注意ください。仮にこの本の帯に「あなたは恋文を書いたことがありますか？」なんていうキャッチコピーがあったとします。著者を知らない読者がそれを見て「ふうん、恋愛に飢えているわけではないがたまにはそんな小説を読むことに吝かでない」とかなんとかいって手に取ってみると「なにやら思ってたんと違う！」となってしまうかもしれませんが、そんな人にでもオススメの小説です。

著者の作品は文章が平易で気軽にサクサク読めます。他の作品もオススメです。そのほとんどで、京都に棲息するという腐れ男子大学生の実態を垣間見ることができるでしょう。加えて作中に登場する女の子たちがとても魅力的なこともお報せしておきます。きっと、笑えます。

あなたは恋文を書いたことがありますか？

古賀 哲也



11センチのピンヒール

LiLy

出版社：小学館

竹川 侑里

人生山河ここにあり

佐々木将人

出版社：マネジメント社

長谷川 寛

地下鉄に乗って

浅田次郎

出版社：徳間文庫

村中 友理

赤毛のアン シリーズ

L. M. モンゴメリー

出版社：講談社

緒方 雅子

乳ガンなんかには負けられない

千葉敦子

出版社：文春文庫

1987年乳がんのため、46歳で死去したジャーナリストの闘病記で、がん発覚から一度目の乳房切除手術までが描かれています。

普通、闘病記というと悲壮感が漂ったり、お涙頂戴のストーリーを連想しますが、この本は、自らの病気をジャーナリストとしての視線で徹底的に観察し記録したノンフィクションです。

たとえがんに侵されようと、出来る限り普通の生活をし、仕事をし、恋愛をし、一人の人間として自立した人生をまっとうする努力を惜しまない姿勢。ちょっと体が不調だけでめげそうになる私にとっては、喝を入れてくれる存在になっています。

文体が非常に簡潔なためか読後感は明るく爽やかで、不思議と生きる意欲が生まれてくる本です。

宋戸 真理子



スティーブ・ジョブズだったら、こうするね！

桑原晃弥

出版社：あさ出版

世の中には、今は亡きスティーブ・ジョブズの名のついた書籍はかなりの数がありますが、その多くはその経歴を時系列にして、[そのとき、ジョブズはこうした]といったことが書かれているものです。

それに対して、この書籍のアプローチは異なっていて、自分がサラリーマンとして（または経営者として）直面するであろう問題や悩み、試練に対してジョブズはこうやって切り抜けてきたよと回答を提示してくれています。

一つの問題点に対して問題提起から結論まで、ほんの数ページにまとまっています。45の項目からなる本ですが、単元構成が短いので、ちょっとした空き時間を使って読む本として、うってつけの本ではないかと思えます。

自分にとってこの本は、仕事などで悩んだときに、何となくこの本を開いて、問題解決のヒントを探しているというような身近なテキストになっています。

成島 憲一

顔をみれば病気がわかる

猪越恭也

出版社：草思社

気になる顔症状は、なんとなく感じていた内臓トラブルの「注意信号」だったのです。

顔の赤みや黒ずみ、ほおの吹き出物などを気にする方は多いでしょうが、それぞれに意味があることをご存じでしたか？これらは内臓などのトラブルの注意信号なのです。

たとえば「目」には「肝臓」の不調が現われますし、「吹き出物」では体内の「熱」の状態が、「むくみ」で体内の「水分」の状態がわかります。これらの「法則」をふまえたうえで自分の顔をチェックすれば、なんとなく気になっていた不調の原因を知る事ができます。

誰でも手軽に自己診断ができます。不調を改善してバランスを取り戻すための方法をととても詳しく解説してくれているので、日常生活に役立つ大評判のロングセラーの本です。

瀧澤 基子

世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド

村上春樹

出版社：新潮文庫

影山 智史

「原因」と「結果」の法則

ジェームズ・アレン

出版社：サンマーク出版

齋藤 利文

DVD でマスター! 体幹が変わる! コアトレベーシックブック

有吉 与志恵

出版社：学研スポーツブックス

新井 勝代

波のうへの魔術師

石田衣良

出版社：文春文庫

筒井 崇

未来をカタチにする経営計画

高山範雄

出版社：明日香出版社

久保 孝一

コーヒーの事典

出版社：成美堂出版

コーヒー豆の知識、抽出器具の種類、淹れ方、アレンジコーヒーや、コーヒーに合うスイーツレシピ、生豆の焙煎方法までコンパクトにまとめてあります。

コーヒーの歴史や雑学なども書いてありまして、読んでいて楽しいです。なんと缶コーヒーは日本生まれだそうです。

ラテアートの描き方(ハートとリーフの2種類)も載っていて、練習を繰り返せば綺麗な模様が描けるようになるということなので、私もエスプレッソマシンを購入したら挑戦してみたいと思います。

大塚 良美

「余命3ヶ月」のウソ

近藤 誠

出版社：ベスト新書

ガン治療の難しさ、医療業界の一面を知ることができた。

大川 修

隠蔽捜査 1 (シリーズもので現在 1~5 まで刊行)

今野 敏

出版社：新潮文庫

この作品は、警察小説の中でも、現場の刑事が活躍するものではなく、警視庁のキャリア官僚の活躍を描いている作品で主人公の魅力は、自分が正しいと思うことなら他のことは考慮せず、たとえ自分の家族の問題であっても決して原則をまげず一切ぶれないというところ。読み進めていくうちに主人公の魅力に自然と引き込まれます。内容は、現職警察官による連続殺人と主人公の息子による麻薬所持、及び使用。このふたつの犯罪を隠蔽するかしないかという内容。読み終わった後は、きっと次の作品がすぐに読みたくなるおすすめの商品です。

名越 由美

感動の条件

永松茂久

出版社：KKロングセラーズ

星野 秀明

